

1. 概要

建設キャリアアップシステム(CCUS)の活用を**成果として特記仕様書及び入札説明書に明記(契約事項)**するとともに、その達成状況に応じて工事成績評価において**評価**するモデル工事を試行。

2. 対象工事：

- ① 支出負担行為担当官が発注する**一般土木工事(WTO対象工事)**は、**CCUS義務化モデル工事を全件対象に実施。**
- ② 支出負担行為担当官が発注する**一般土木工事(WTO対象工事以外)**のうち複数件を対象に、**CCUS活用推奨モデル工事を実施。**
- ③ 分任支出負担行為担当官が発注する**一般土木工事(C等級工事)**のうち各府県毎の複数件を対象に**CCUS活用推奨モデル工事を実施。**

3. 試行内容

(1)特記仕様書に条件明示

- ① **CCUSの現場登録を行うとともに、カードリーダーを設置すること**
- ② **工事期間中の平均事業者登録率90%、平均技能者登録率80%を達成するよう努めること**
- ③ **工事期間中の平均就業履歴蓄積率(カードタッチ率)50%を達成するよう努めること**

(2)施工段階

特記仕様書に定めた時期に、以下についてそれぞれ確認。なお確認方法は、発注者より受注者に報告を求める。

- ・ 事業者登録率 / 技能者登録率 / 就業履歴蓄積率 (カードタッチ率)

(3)工事成績評価 (工事完成検査/成績評価時)

特記仕様書に記載された①～③の達成状況により工事成績評価で**加点**／**減点** (義務化モデル工事)、**加点** (活用推奨モデル工事)

※目標達成：1点加点 (平均技能者登録率90%以上の場合は2点加点)

※目標を著しく下回った場合 (平均事業者登録率70%未満又は平均技能者登録率60%未満又は平均就業履歴蓄積率30%未満)：1点減点
(減額措置は義務化モデル工事のみ対象)

(4)積算

カードリーダー設置費用、現場利用料(カードタッチ費用)について、精算変更時に支出実績に基づき、**発注者が負担**